=	_	_	【解答例】					>	びと
な		欠	例:	だ だ :		れている樹木について調べることにした。わたしは、以前から、後楽園の周辺にたわたしは、以前から、後楽園の周辺にた		ことも必要である。	- 二流 次っき つ の が 目 w 文 が に 対 で に 対 で が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に 対 が に が に
つ		カュ		!		る樹木には、い		変でなったもつ	文がをかった。
て		せ		: または		木について調がら、		ある。	のつなぎ言葉に続いている。
V		な		! は ! ! ! !		て U U E の、後 必 で あ で の で の で の の に の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に			1き 葉ば 分に分れる
た		V			ることのこと		なすい	が 続く五 ま ま え る る る る る る る る る る る る る る る る る
0	 1 r	0		! よ : り ! !	0	に関うない。	0	みんた	点。 文字 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
だから		また	答例】	 次 _ぎ ! に !		調べることにした。		十分なすいみんをとることが欠かせないし、	び、 の中に書きます。読点(、)や記号がある場合は、字数にふくみまと二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、 いっと が ことば いっこ こも に か の文の終わりの五文字、次の文 章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、
`	J [``			`	か 気 ^き に	,	欠かかけ	る vo 目 の が の 文 な
後		栄		!		なってい		ないし	場合は、字数にとりの五の文の終わりの五の文の終わりの五
楽		養				たのの			字数にふくみます。 字数にふくみます。
園		0				後鄉		のある	
に		あ				大 (栄養のある食事をする	からいる。
植		る				性 ² え ら		とする	ら 選 ^え 実

「1文を2文に分けて書く」補充問題① 名前(

=	_	~ •			Ξ		_		7
		解 答 例 例	. — . ¬		~ in to		お	び と ***	1 文
K	Ľ	例			★ ★		おり、「衣」、「衣」、	- た	を2.
L	つ		ろで		ぼくは、これによるというというというというというというというというというというというというというと		では、と	の 変が をしょう	文を2文に分けて書く」補充問題②
て	て		: 		これま		は和服である。	中 ^な か つ 一つ の さ き か ぎ	けて
V	V		むしろ		でのけ		には和服と洋服があるくらしのき本である	のつなぎ言葉に対の中に書きます。	書く」
た	る		- - - - -		ては、これまでのけい験を生かして、く放送委員になった五年生は、放送 は、これまでのけい験を生かして、 であんせい ほうそういいん こねんせい ほうそう			う。 読され 記 記 記 記 え る て ん ま う て ん ま き う て ん う き う も う き う き う も う も う も う も う も う も	補充
0	0		たとえば	0		0	衣い	ぶん 文 文 で 字 じ 記 に こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ う こ	問題
そこで	たとえば		ば そのうえ 		して、いろいろなことを教えてあげたいと思った。放送機器の使い方が分からず不安そうにしていたほうそうき きょっか かた ゎ		っ。 食住」のどれにも、「衣食住」のどれにも、	び、 の中に書きます。読点(、)や記号がある場合は、字数にふくみない。つまが ない ですらと二つ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 名前 (
`	` `		ク! え!	``	かったがたが	`	iz •	場。 合。 な 文 ź ź	
ぼ			そ !		とを教 とを教		和ゎ	は、 ぎ こと だ き ま き ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	
<	衣		そこで		えてあず不安		と 洋 歩	数 が は りの	
は		<u>.</u> .	!		げたい		が	±	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	に				いと思った。		入りまじって	かなき言葉できる。	$\overline{}$
Ŋ	は				た。たの		しって	ら 選 ^え 。 葉 ^は	

Ξ	_	解		_		,	7	1
に	り	【解答例】 むしろ		ひさ		れなくなってしまった。わたしは、きのうの夜	び、と ニャップ つ の 目 ッ 文が	「1文を2文に分けて書く」補充問題③
出	L	!! ろ		ぶり		なってし	の変えを表ののできる。	又に分
カュ	て	だから		レン		なくなってしまった。かたしは、きのうの夜、	のつなぎ言葉に続いる。	けて
け	٧١	i Š		タル ル ビ		汉 5	できます。ことは、アに分が、からます。	書くし
た	た	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :		デオに		やそくよ	り。 続って 読って 書 ^か	補 充
0	0		· · · · · ·	に出て	0	までテ		問題②
けれども	だから	: 要する : :		ひさしぶりにレンタルビデオ店に出かけたら、一に		おそくまでテレビを見たり、	び、 の さん ことば こうてん きごう ばあい じゅう かと ことば ことば ことば かいの文 章を二つの文に分けて書き直します。一つ目の文の終わりの五文字、つなぎ言葉と が から選 が でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま か から選 でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま か から選 でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま か から選 でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま か ない の 文の終わりの五文字、つなぎ言葉 でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま ひと め ぶん お こもじ ことば から でき ぶんじょう ふた ぶん お か なお まま ひと め ぶん お まま こもじ ことば か でき ぶんじょう ふた か な か なお まま ことば か でき ぶんじょう ふた か な か なお まま ことば か か な か な か な か な か な か な か な か な か な	名前(
`	,]		週間 間 前 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記			る場合になっている。	
_	ね	けれ こととも			П	を 間 ^き	は、 ぎ こと *** *** *** *** *** *** *** *** ***	
週	む		!	一週間前にへい店していた。		たり	字数にふくみます。 字数にふくみます。	
間	れ			いた。		していた	く ! 文 字 に すま こ : ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
前	な					音楽を聞いたりしていたので、	す。 の中から選 選 ます。	\smile
に	<					ねむ	ら 選 ^え 。 業 ^は	

=	_	解	_	_			びとかかっ	1 1
Ŋ	i	【解答例】 ときには		つたりしているので、図書委員会が 行っ		いと言っている。 今度の祝日に	一た	「1文を2文に分けて書く」補充問題④
L	2	には		せている 安員会ご		と言っている。	の 変え を かった	又に分
て	て			るので、つで、つで、ついで、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、こので、この		は、	中なった 一つの ままか ぎ	けて
V	٧١	それでは 		_		兄がには、おからは、おから、おから、おから、おから、おから、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	の一なぎ言葉に続いている。	書く
る	る			いろいる読書へ			いた。とうでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	補 充
0	0			たりしているので、毎回いろいろな本図書委員会が行っている読書会では、としょいいんかい おこな どくしょかい	0	遊ぎで	ぶん 文字 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	問題
そのため	一	: た : め		N		兄は遊園地で遊びたいと言っているが、	の中に書きます。読点(、)や記号がある場合は、字数にふくみまつ目の文のつなぎ言葉に続く五文字を書きなさい。つなぎ言葉は、[・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ため		一方質		本のろう読をしたり、本のろう読をしたり、		買ってい	がある	名前(
`	`	万号	, ,	をした	`	るが、	場はありながるなが	
毎	姉			り、読ょ			は、言葉はおりない。	
口	は	なぜなら		ん だ 本 ^ほ		姉 _ね は デ パ	場合は、字数にふくみます。の文の終わりの五文字、つなぎ言葉は、「・・・・」の中でなぎ言葉は、「・・・・」の中ではあい	
V	デ	Ĺ	-	をしたした		トで	くみまり	
ろ	パ			読んだ本をしょうかいしあょ		トで買い物をした	ます。の中から選	$\overline{}$
V				しあり		した	ら 選 ^え 乗 ^は	

=	_	解			_			~ I	¬ 1
係	得	解	さらに		く、 わ		れらった。 のなり	び、 と 次 で 次 で で の で が と か で か で か で が か か か か か か か か か か か か か	1文を2文に分けて書く」補充問題⑤
L			に i		、楽しいときに空		らの中には不ち	で	文に分
て	V		あるい		き の T		へたし、身の	中 な か で	けて
٧١	ま		いは		楽しいときに笑うというように、 心たしたちの 体 の動きと 心 の動きは、		かな 回りの も	のつなぎ言葉に分けるがかかっています。	書くし
る	す		4		うよる		の の が 多	y。 続く 表 え 素 点 が ま き う て ん ま き う て ん う き き き き き き き き き き き き き き き き き き	補充
0	0		さて	0	7	0	じって じって		問題
だから	けれども		けれども		心 の動きが 体 の動きに 表 れる。 にえる きご からだ きご あらわ いは、みっせつに関係しているので、		れらの中には不たしかなものが交じっていることもあります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<u> </u>	S 名前 へ
`	` `			`	がたけい	``	ります	場合は あい る など る など る など の など の など の など の など の など	
悲	そ		だから		の動きに表れる。 まらわ あらわ あらわ あらられ あらわ あらわ あらわ で あらわ で あらわ で あらわ で あらわ かんけい るので あんけい まれる。		っじょう	は、 き こと 終	
L	れ	<u>_</u> .	i		れるので		ほうた	場合は、字数にふくみます。の文の終わりの五文字、つなぎ言葉は、[]の中の文の終わりの五文字、つなが	
٧١	Ġ						そ 得 て 、	くみずず	
ك	<i>O</i>				悲しいときに泣な		います。	ます。 中から選 葉 ます。	\cup
き	中				さ に 泣 ^な		が、そ	ら 選 ^え た 業 ^は	

補充問題⑥ 名	「1文を2文に分けて書く」 猫
夕	P充問題(6)
前(名前(

次の文章を二つの文に分けて書き直します。つなぎ言葉を、ハデ ぶんしょう ふた ぶん ゎ ゕ なお ----から選び、 二 文 ぶ ん

目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

ぼくは、 きのうの夜おそくまでまんがを読んでいたので、 朝** い つもどおりに起きることが

できなかった。

花子さんは、 地図を見てみたが、 目的地までの行き方は分からなかった。

に起きることができなかった。 ぼくは、きのうの夜おそくまでまんがを読んでいた。 それで、 ぼくは、 朝 1 つもどおり

だが

それで

そして

つまり

次^でぎ

た。 花子さんは、 地図を見てみた。 だが、 花子さんは、 目的地までの行き方は分からなか 0

「1文を2文に分けて書く」
補充問題⑦
名前

つなぎ言葉を、|--から選び、 二に対象が

目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

太郎は、 図書館でいろいろな日本の民話を読んでいたけれど、としょかん 外国の民話を読んだことはがいこく みんわ よ

なかった。

11 ボ ぼ \mathcal{O} ル紙の箱にしまっ 両親は、 チ ヨウ集め ておかなければならなかった。 \mathcal{O} ŋ つぱな道具なんどうぐ かくれなか ったから、 集めたチョウを古

太郎は、 図書館でいろい ろな日本の民話を読んで いた。 しか 太郎は、 外国 \mathcal{O} 民話を

読んだことはなか った。

しかし

あるいは

さて

たとえば

だから

たチ ぼ 彐 ウを古い \mathcal{O} 両親は、 ボ チョウ集めの ル 紙 低の箱に しま りっぱな道具なんかくれなか 0 ておかなけ ればならな った。 か った。 だから、 ぼく は 集め

「1文を2文に分けて書く」補
補充問題8
名前へ

-.] から選び、 二ぱる

目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

おとといの早朝、 近所の山にかみなりが落ちたので、 おどろいて目を覚ました。

た。 わたしは、 国語のプリントを家にわすれてしまったと思ったが、こくご かばんの中に入って 11

おとといの早朝、 近所の 山にかみなりが落ちた。 それで、 わたし (ぼく) は、 おどろい

て目を覚ました。

また

むしろ

それで

要するに

けれども

は、かばんわたしは、 かばんの中に入って 国語のプリントを家にわすれてしまったと思った。 いた。 けれども、 国語のプリント

1文を2分
メに分ける
て書く」
補充問題(9)
名前 (

つなぎ言葉を、 から選び、 二に対象が

目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

わたしは、 食事のときにテレビを消しているか友達に聞いてみると、

しょくじ
ともだち
き テレビを消して食

事すると答えた。

でつばをおさえた。 松井さんは、その夏みかんに白いぼうしをかぶせると、サック ト゚ 白いぼうしが飛ばないように、 石に

ときには さらに さて けれど すると

わたしは、 食事のときにテレビを消しているか友達に聞いてみた。 すると、 友達は、 テ

レビを消して食事すると答えた。

が飛ばないように、 松井さんは、 その夏みかんに白いぼうしをかぶせた。 石でつばをおさえた。 さらに、 松井さんは、 白い 、ぼう

「1文を2文に分けて書く」補
補充問題⑩
名 前 へ

つなぎ言葉を、 ____ から選び、 二 文 ぶん

目にはてき切な主語をおぎなって書きましょう。

ぼくは、 0

た。

る。 夜道は、 見通しが悪くて大変きけんなので、 自転車のライトを必ずつけるようにしてい

ところで だから たとえば そのうえ ところが

方はわからぼくは、 新しく買ったテ V ビの説明書を何度も読んだ。 ところが、 ぼくは、 そう作の仕

からなかった。

必ずつけるように 夜道は、 見通しが悪くて大変きけんだ。 て 11 . る。 だから、 わたし (ぼく) は、 自転車のライ トを